



令和5年(2023年)12月8日(金)



## やきいもやさんごっこ



プレやきいもやさんごっこ



12月6日(水)、教室での練習に物足りなくなった子どもたちは、1Fの先生たちに焼き芋を売りにいくことにしました。教室を出ると、大きな声で、「やきいもー」「おいしいよー」「いらっしやいませー」と大声で宣伝します。廊下中に響き渡ります。でもまだ誰も廊下に出てきません。何事かと警戒しているのかもしれませんが。そこでみんなで「焼き芋グーチーパー」を歌うことにしました。「やきいも、やきいも、おなかガグー！」と大声で歌います。恥ずかしがって声でないかと心配しましたが、廊下に響き渡る声で歌っています。すると・・・「うわー、焼き芋屋さんだ、おいそー！」という声とともに、事務室のドアが開きました。お客様の登場です。子どもたちはさっそく、「いらっしやいませー、いくつですか？」と売り込みを始めました。事務の矢野さん、鈴木さんが相手してくれます。「あー、お腹がすいた！」と言いながら、ちょっとした芝居をしてくれます。大人が真剣に遊んでくれるので、子どもたちは楽しくない訳がありません。中にはお金が100円しかないのに「2本ください。」と言うお客さんもいます。不測の事態に子どもたちはどう反応するでしょうか？大丈夫、やきいもやさんになりきっている子どもたちは、不満そうな表情をして「足りないよ。これでは1本しか買えないよ！」と伝え、渡した焼き芋を取り戻そうとしています。なかなかしっかりしています。



そんなやりとりを聞きつけ、校長室から校長先生、保健室から森谷先生が次々にやきいもを買いに来てくれました。通級の見山先生は、ニコニコしながら2度も買いに来てくれました。見山先生は毎年幼稚部のおみせやさんごっこを楽しみにしてくれているお得意さんなのです。「おいしいー！」と言いながら大げさに反応する様子も見事です。



このやきいもやさんは、じゃんけんをして、お客さんが勝つと一本おまけすることになっています。お祭りのチョコバナナ売りを参考にしました。お客さんは張り切ってじゃんけんをしてくれるのですが、残念なことに子どもたちはじゃんけんが強くてなかなかおまけをあげることができませんでした。自分たちが負けると、「おめでとー」と言いながらおまけをあげるのですが、中には悔しがってしまう子もいたりして、それはそれでほほえましい光景でした。慣れてくると、調子に乗っておまけを2本に増やしてしまい、周囲が止めに入るといこともありました。でも、こういう商売は気前の良さが大切なんですよね。もし子どもたちが「お客さんだけですよ。特別ですよ。」なんて言ってくれたら、嬉しいでしょうね。



## すすめ、やきいもカー！

「やきいもグーチーパー」を歌う子どもたち。背後の見山先生が待ちきれない様子です。見山先生は手におもちゃのお金を握りしめています。

やきいも屋さんののぼりは手作りです。「やきいも」文字は子どもたちが一筆で書きました。何とも言えない味がありませんか？

煙突から綿で作った煙が出ています。

エプロンも手作りです。やきいもやさんらしく、しぶい色にしようかと思いましたが、子どもたちが選ぶのは大好きな青やピンクばかり。ファンシーなやきいもやさんになりました。自分で作ったお気に入りなので、練習の時も着たがります。

車の周囲に貼ってあるパネルは、絵を描いたり塗り絵をしたりしてみんなで飾りました。

銀紙に包んであるやきいもも手作りです。中にはおいしそうなやきいもがにっこり。

